



マルト便

MARUTO INFORMATION

ホームページにバックナンバー掲載中

マルト商事

検索

お客様の笑顔のために...



7月号 JUL 2022

<http://www.maruto-shoji.co.jp>

は～やくこいこい ほっかいどう

新型コロナウイルス感染症で罹患された皆様、関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、医療従事者の皆様、病院関係の皆様、新型コロナウイルスの感染拡大防止にご尽力されている皆様に心より感謝を申し上げます。

7月に入り恐ろしい暑さが続いております。皆さま体調崩されていいませんか？関東地方では6月27日に梅雨明けの宣言が気象庁より発表されました。なんと平年より22日早い、統計上過去最短の梅雨となったそうです。暑さも大変ですが、伴い、電力供給量の話題がニュースで取り上げられています。戦争などの影響もあり、燃料高が続く中、電力の安定供給も滞っている。国のエネルギー政策に文句の一つも言いたくなります。とはいえ、怒っても体温が上がって一層暑くなるだけです。今自分たちにできる節電対策を一つずつ実行して、使用電力量とコスト上昇を少しでも抑えられるように努めていくしかありません。事業としてはエネルギーコストの上昇は製造原価に大きく関わる部分ですので今回の電力価格の大幅上昇は本当に深刻です。できることを実施していこうと思います。

玉葱の流通状況も過去無いような動きをしています。府県産地の玉葱は各産地それぞれに収量が上がっているように見えますが、市況は過去平均より大幅に高値で推移が続いています。150円～200円/kgでの相場推移です。契約価格で出荷を頂いている生産者様には本当に感謝です。とはいえ、ここまでの高値相場が続くと来期以降の玉葱契約に、数量・価格両面で影響が間違いなくあると思います。

今後の予測としては、北海道出荷開始までは多少上下があっても保合で推移しそうです。北海道産出荷が例年より若干早めにスタートすることが予想されています。8月中旬頃には北海道産玉葱の流通量が増加すると思います。マイナス情報としては昨年のような干ばつはありませんが、6月中旬に北見地方に2日連続で雹が降ったことにより、地域の数%が被害を受け廃耕となりそうであるとの情報も入っています。また、7月下旬収穫の極早生品種は若干小玉傾向との情報です。今期北海道産玉葱の生育状況については7月11日週に各産地を回って圃場確認を実施する予定です。視察報告を皆さまにさせて頂く予定です。

22年産北海道玉葱供給で、皆様のお役に立てるように進めて参ります。今後とも変わらずご愛顧頂けますよう、宜しくお願い致します。

7月 玉葱商品産地情報

産地		状況
国産黄玉葱	府県各産地	相場は高値推移 東北北陸産地が出荷スタート 品質安定
輸入黄玉葱	NZ 西オースト	ご要望頂ければ手配をさせて頂きます(スポット案内)
中国剥き玉葱	山東省	山東省産本格スタート 作付け減(例年より高値推移)
国産赤玉葱	淡路 栃木 他	淡路 栃木 安定入荷中(例年より高値推移)
輸入赤玉葱	中国 AUG	中国産 AUG産 スポット対応となります

“食”の分野で役立つマーケティング情報

前回、様々なスポーツのトップアスリートの育成に使われているHACモデル（Holistic Athletic Career model）はビジネスの育成の現場にも有用な理論ではないかということを書きました。今回はこのHACモデルについてもう少し詳しく書いてみたいと思います。HACモデルとは、パフォーマンス向上につなげるためのアスリートの行動改善に働きかける概念です。これはアスリート個人の育成や強化には競技面だけを改善しても、パフォーマンスを最大限に伸ばすことはできないとわかってきたことから生まれてきました。つまり仕事に置き換えると、業務のスキルを磨くだけでは仕事でのパフォーマンスで大きな力を発揮できないということになります。

では、HACモデルではアスリートがパフォーマンス向上につなげるためにどのようなスキルが必要であるかという、それは人間関係をマネジメントできる対人スキルです。成人に達したアスリートがこの時期に、競技生活に日々関係のある様々な人々との人間関係をマネジメントできるかというかが、競技そのもののパフォーマンスにも影響を与えるということです。幼少期から成長段階においては、家族や学校、所属クラブのコーチなど関係する人の種類は限られたものですが、成人に達して競技レベルが上がるにつれて、自分が関係する人の種類が多くなります。たとえば成長段階ではいなかったより高いレベルのチームメイトやコーチ、雇用主やスポンサーなどです。このような人々との人間関係を自分でマネジメントできる力が重要だと考えられています。

これはビジネスの育成にもあてはまることで、ただ仕事のスキルを向上させるだけでは成長が続かないということかもしれません。また、いくら仕事のスキルを向上させたとしても、職場や会社の人間関係にうまく対応できずに辞めてしまう場合も多くあります。こうなってしまうと、いくら仕事のスキルの教育に会社がお金や時間をかけてもそれは損失になってしまいます。逆にいうと、人間関係をマネジメントできる対人スキルを持っていれば、仕事でのパフォーマンス向上になり、本人にとっても会社に大きな利益となるということです。

良い人材の採用活動や若手育成のための教育など、企業の成長のために人への取り組みは欠かせません。スポーツにおけるHACモデルには小さくないヒントがあるように思えます。紙面に限りがありますので、HACモデルで重要と考えられているのが3つの要素を紹介して終わりにしたいと思います。

1.セルフレギュレーション（自己調整能力）

主体的に自らの学習プロセスをコントロールする力です。自らの技術を習得するプロセスや自分自身の行動を省みて評価し、さらに高めていくために必要な学習方法を理解して具体的な目標設定や達成までの計画を立てることができ、それに応じて行動を調整・継続する力のことを言います。

2.アダプタビリティ（適応力）

望ましくない出来事や想定外の出来事が生じた場合でも、状況や条件に応じて自ら行動を変える力です。つまり、新しいこと、変化、予測、予測不可能な事態に対して、条件や状況に適応し対処する力をいいます。これには、問題の改善に向けた新しい方策を見つけ出すと同時に、状況を把握する能力が求められます。

3.レジリエンス（持続力・耐久力）

困難・危機的な出来事を経験した後にも、前向きかつ柔軟に物ごとに取り組む姿勢や態度です。これには、ネガティブな結果につながる可能性のあるストレス要因に立ち向かうことや、ネガティブな出来事を経験したとしても前向きにうまく適応してやり続けることができる能力を含んでいます。



木下康司 きのしたこうじ

1966年生まれ。キノ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役。

デザインとコミュニケーションの力を使い商品やサービスの価値を高めてブランド力を作り出すことに取り組んでいる。

<http://www.kino-company.com>

※本記事に関するご要望・改善等ございましたらお気軽にご連絡ください。

お問い合わせはコチラ⇒TEL049-258-5315